

社会資本総合整備計画(第1回変更)

おおいたしちゆうしんしがいちちく としさいせいせいびけいかく
大分市中心市街地地区 都市再生整備計画

平成27年 3月

おおいたけんおおいたし
大分県大分市

社会資本総合整備計画

計画の名称	大分市中心市街地地区 都市再生整備計画																											
計画の期間	平成26年度～平成30年度(5年間)				交付対象	大分県 大分市																						
計画の目標	<p>■大目標 中心市街地における都市機能の利活用の促進(都市機能の利活用による親しみづくり、親しみや調和の醸成)</p> <p>□目標 1 中心市街地の南北一体化による都市機能の利活用と賑わい促進</p> <p>□目標 2 人にやさしい魅力ある都市空間の育み</p>																											
計画の成果目標(定量的指標)	<p>【歩行者通行量】 中心市街地における「歩行者通行量(土、日曜日:35地点)」を288,290人(H25)から350,000人(H30)に向上</p> <p>【まちなか滞留時間】 中心市街地における「まちなか滞留時間(3時間以上の割合)」を29.7%(H25)から40.0%(H30)に向上</p>																											
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H25当初)</th> <th>中間目標値 (H28末)</th> <th>最終目標値 (H30末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【歩行者通行量】 毎年実施している「大分市中心部における通行量調査」の土、日曜日の35地点の合計通行量</td> <td>288,290人</td> <td>320,000人</td> <td>350,000人</td> <td>※中間目標は任意</td> </tr> <tr> <td>【まちなか滞留時間】 毎年実施している「大分市中心部における通行量調査」によるまちなか滞留時間3時間以上の割合</td> <td>29.7%</td> <td>35.0%</td> <td>40.0%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>											定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H25当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H30末)	【歩行者通行量】 毎年実施している「大分市中心部における通行量調査」の土、日曜日の35地点の合計通行量	288,290人	320,000人	350,000人	※中間目標は任意	【まちなか滞留時間】 毎年実施している「大分市中心部における通行量調査」によるまちなか滞留時間3時間以上の割合	29.7%	35.0%	40.0%	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																								
	当初現況値 (H25当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H30末)																									
【歩行者通行量】 毎年実施している「大分市中心部における通行量調査」の土、日曜日の35地点の合計通行量	288,290人	320,000人	350,000人	※中間目標は任意																								
【まちなか滞留時間】 毎年実施している「大分市中心部における通行量調査」によるまちなか滞留時間3時間以上の割合	29.7%	35.0%	40.0%																									
全体事業費	合計 (A+B+C)	874.5百万円	A	874.5百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 (A(提案分)+C)/(A+B+C)	0.0%																		
交付対象事業																												
A1 基幹事業(市街地整備)																												
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考													
									H26	H27	H28	H29	H30															
A1-1	都市再生	一般	大分市	直接	大分市	大分市中心市街地地区 都市再生整備事業	高質空間形成施設事業 他 153ha	大分市						874.5														
									合計					874.5														
B 関連社会資本整備事業																												
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考													
									H26	H27	H28	H29	H30															
									合計					0.0														
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考																	
C 効果促進事業																												
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考													
									H26	H27	H28	H29	H30															
									合計					0.0														
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考																	

都市再生整備計画(第1回変更)

おおいたしちゆうしんしがいちちく
大分市中心市街地地区

おおいた 大分県 おおいたし 大分市

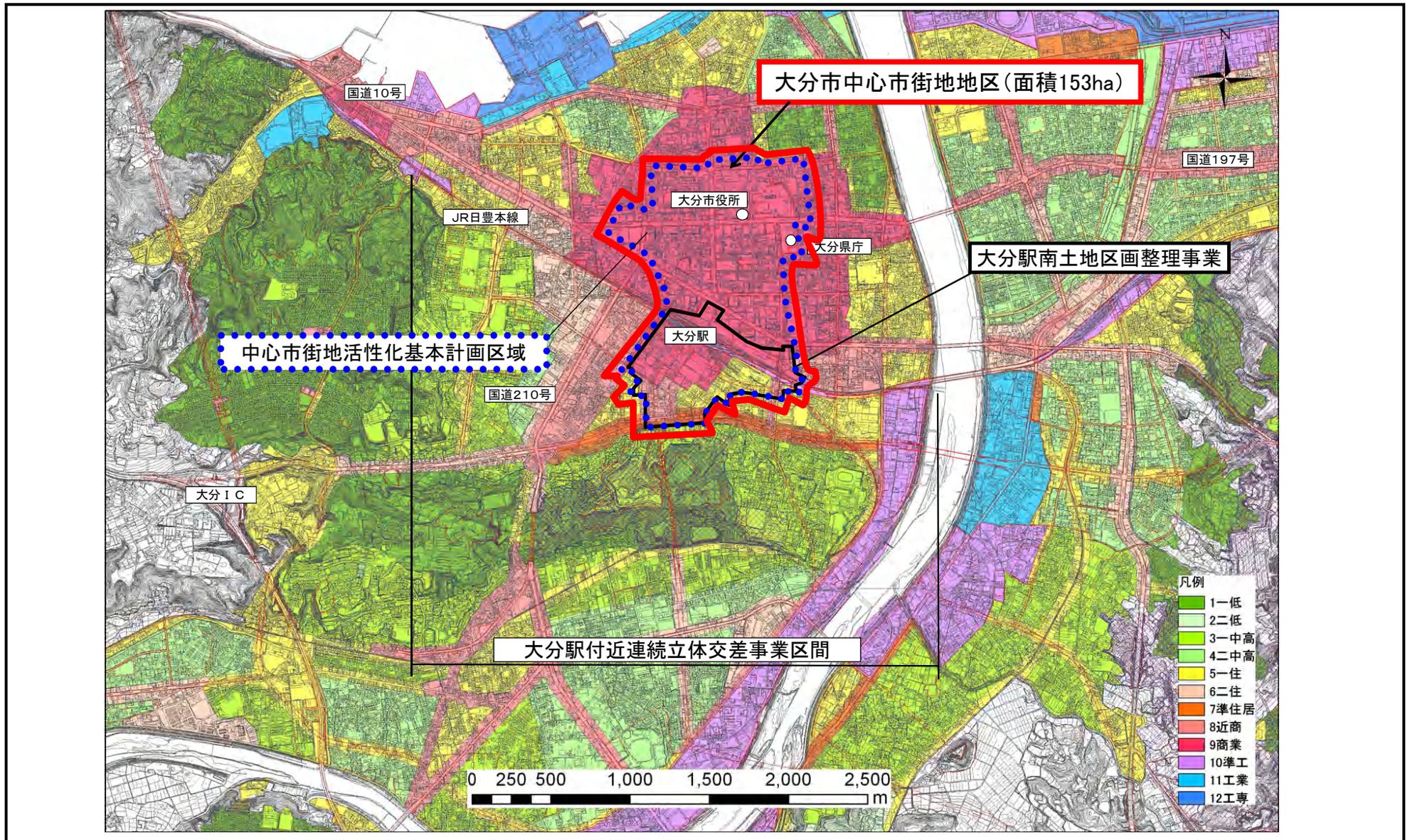
平成27年3月

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1（目標1: 中心市街地の南北一体化による都市機能の利活用と賑わい促進）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中心部へのアクセス強化及び様々な交通手段による結節機能の利活用を図る ○にぎわい創出に向けた施設整備と施策による賑わい促進 	<ul style="list-style-type: none"> ■大分駅北口観光案内サイン設置 ■大分駅北口駅前広場情報案内板設置 ■中央住吉1号線修景 ■中央住吉2号線修景 ■中央町南春日線シェルター設置 □まちなかにぎわい創出事業 □環境にやさしい自転車のまちづくり啓発事業
<p>整備方針2（目標2: 人にやさしい魅力ある都市空間の育み）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域資源の有効活用に向けた適切な案内と情報提供により中心部の回遊性を育む ○憩いの空間や多様なライフスタイルに対応した施設整備による地域の魅力を育む 	<ul style="list-style-type: none"> ■大分駅北口観光案内サイン設置 ■大分駅北口駅前広場情報案内板設置 □まちなか出店サポート事業 □通行量調査 □大分都心南北軸トータルデザイン設計業務委託 □事後評価調査 □中心市街地循環バス運行事業
<p>その他</p>	

都市再生整備計画の区域

大分市中心市街地地区(大分県大分市)	面積 153 ha	区域 中央町1~4丁目、府内町1~3丁目、大手町1~3丁目、金池町1~5丁目、末広町1~2丁目、高砂町、都町1~4丁目、大道町1~4丁目、顕徳町1~3丁目、東大道1~2丁目、金池南1~2丁目の全部及び上野町、桜ヶ丘、荷揚町、六坊北町、寿町、大道5丁目、上野町、東大道3丁目の一部
--------------------	--------------	--

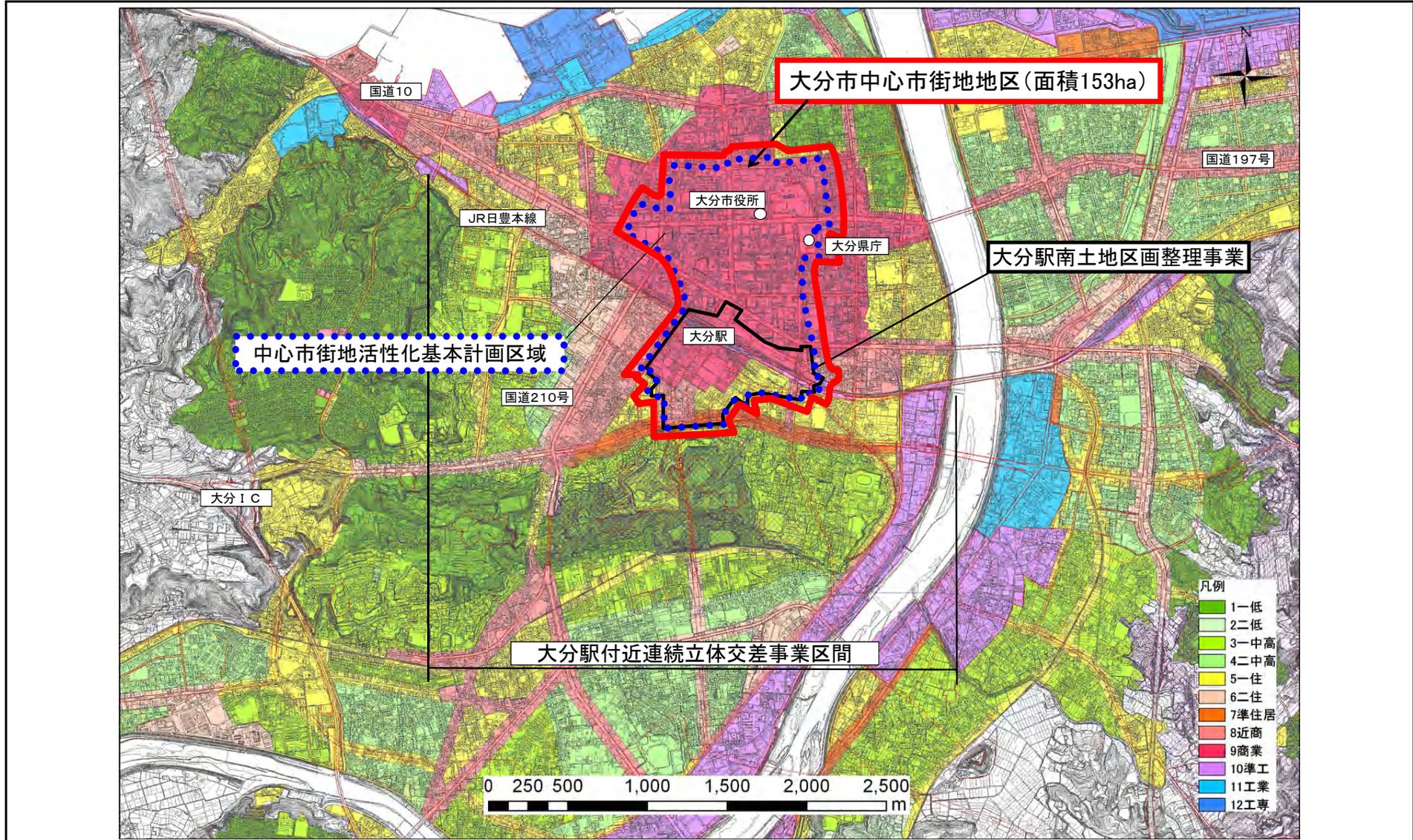


都市再生整備計画の添付書類等(第1回変更)

交付対象事業別概要

おおいた し ちゅうしん しがいち ちく
大分市中心市街地地区 (大分県大分市)

大分市中心市街地地区(大分県大分市) 現況図



交付限度額算定表(その1)

要綱第5に掲げる式による交付限度額(X)	393.5 百万円	規則第16条第1項に基づく交付限度額(Y)	223,239.0 百万円	X≤Yゆえ、本計画における交付限度額	393.5 百万円
----------------------	-----------	-----------------------	---------------	--------------------	-----------

規則第16条第1項に基づく限度額算定

Au 688,500 m²

公共施設の上限整備水準

区域面積(m ²)	1,530,000	
当該区域の特性に応じて国土交通大臣が定める割合	区域の面積が10ha未満の地区	0.50
	最近の国勢調査の結果による人口集中地区内	0.45
	その他の地域	0.40

Cl 725,700 円/m²

単位面積あたりの標準的な用地費

標準地点数	6
公示価格の平均値(円/m ²)	250,500
単位面積あたりの標準的な補償費	
当該区域内の戸数密度(戸/m ²)	0.003
標準補償費(円/戸)	44,000,000

Cf 23,000 円/m²

控除額 69,000 百万円

まちづくり交付金とは別に国庫補助事業等により整備する施設

施設名(事業名)	面積(m ²)	国庫補助事業費等(百万円)
大分駅南土地区画整理事業	496000	69000
合計	496000	69000

要綱第5に掲げる式による限度額算定

交付対象事業費	基幹事業(A)	669.3 百万円
	提案事業(B)	205.2 百万円
	合計	874.5 百万円

Ap 0 m²

公共施設の現況整備水準

○ 整備水準が明らかになっている類似市街地等からの推定	
推定現況整備水準(小数第2位まで)	
推定公共施設面積(m ²)	0

個別公共施設の積み上げ

	面積(m ²)	割合
道路	-	
公園	-	
広場	-	
緑地	-	
公共施設合計	0	0

Cnを考慮しない場合の交付限度額(Y1) 223239 百万円

ΣCn 0 円

下水道	0 円
区域面積(m ²)	1,530,000
うち現況の供用済み区域面積(m ²)	
標準整備費(円/m ²)	3,600

地域交流センター等の公益施設(建築物) 0 円

上限床面積(m ²)	9,400
標準整備費(円/m ²)	630,500

調整池 0 円

調整池の容積(m ³)	
標準整備費(円/m ³)	140,000

河川 0 円

河川整備延長(m)	
標準整備費(円/m)	3,700,000

住宅施設 0 円

建設予定戸数(戸)	超高層		
	一般		
	合計	0	
標準整備費(円/戸)	超高層		
	一般		
	北海道特別地区	41,310,000	33,500,000
	北海道一般地区	38,190,000	30,990,000
	特別地区	49,120,000	35,690,000
	大都市地区	37,170,000	30,180,000
	多雪寒冷地区	41,510,000	32,370,000
	奄美地区	39,520,000	35,640,000
	沖縄地区	30,280,000	30,280,000
	一般地区	33,700,000	28,640,000

市街地再開発事業による施設建築物 0 円

施設建築物の延べ面積(m ²)	
標準共同施設整備費(円/m ²)	132,000

電線共同溝等 0 円

電線共同溝等延長(m)	
標準整備費(円/m)	680,000

人工地盤 0 円

人工地盤の延べ面積(m ²)	
標準整備費(円/m ²)	5,300,000

協議して額を定める大規模構造物等 0 円

大規模構造物等	協議状況	整備費(円)

Cnを考慮した場合の交付限度額(Y2) 223,239 百万円

- 交付要綱第5 3)式の適用[提案事業2割拡充]
- 平成20年度二次補正予算の執行
- 交付要綱第5 4)式の適用[中活等の45%拡充]
- 4)式の適用の場合、経過措置の適用
- 交付要綱第5 5)式・6)式の適用[リノベ事業の50%拡充]

交付限度額算定表(その2)

交付要綱第5に掲げる式による限度額算定(詳細)

※水色のセルに事業費等必要事項を入力して下さい。(百万円単位)

単位:百万円

○交付対象事業費(必ず入力)

(百万円)

(百万円)

交付対象事業費	基幹事業合計(A)	669.3	A (事業費)	1)式で求まる額(4/10*(A+B))	349.800	① (国費)
	提案事業合計(B)	205.2	B (事業費)	2)式で求まる額(5/9*A)	371.833	② (国費)
	合計(A+B)	874.500	(事業費)	上記①、②の小さい方	349.800	③ (国費)
	提案事業割合(B/(A+B))	0.235		国費率(③÷(A+B))	0.400	④ (国費率)

○拡充の有無

以下の3つの拡充のうち、いずれかの拡充がある場合は、該当する欄に○を記入し、事業費等を入力。

・3)式の適用[提案事業2割拡充]	○	(選択)	⇒	3)式で求まる額(5/8*A)	418.313	⑤ (国費)
・平成20年度二次補正予算の執行		(選択)		3)式の適用後(適用がある場合は3式反映)	349.800	(国費)
・4)式の適用[中活等の45%拡充]	○	(選択)		3)式適用後の国費率(⑥÷(A+B))	0.400	(国費率)

○拡充がある場合の事業費等

平成20年度二次補正の執行がある場合及び4)式の適用がある場合は、以下に事業費等を入力。

平成20年度二次補正の執行がある場合	防災対象事業(A')		A' (事業費)	⇒	③をA'に置き換えた額(A⇒(A-A')+9/8*A')	349.800	⑧ (国費)
	補正予算の執行額		(国費)		執行額を足した額	349.800	⑨ (国費)
					補正適用後(上記⑧、⑨の小さい方)	349.800	⑩ (国費)
					補正適用後の国費率(⑩÷(A+B))	0.400	⑪ (国費率)

4)式の適用を受ける場合	計画の認定等の年度末までの執行事業費(F)		F (事業費)	⇒	適用前の国費率(⑩÷(A+B))	0.400	⑫ (国費率)
	適用対象となる交付対象事業費(A''+B'')	874.500	(事業費)		適用対象事業費から求まる限度額	393.525	⑬ (国費)
	適用対象となる基幹事業合計(A'')	669.3	A'' (事業費)		適用後の国費率(⑬÷(A''+B''))	0.450	⑭ (国費率)
	適用対象となる提案事業合計(B'')	205.2	B'' (事業費)		4)式適用後の限度額(⑫×F+⑭×H)	393.525	⑮ (国費)
	適用対象事業のうち翌年度以降の執行事業費(H)	874.5	H (事業費)				

※4)式の適用を受ける場合で、経過措置を適用しない場合(H21以降新規地区)は、Fの欄を記入せず、A''、B''を記入し、A''=A、B''=B、H=A''+B''=A+Bとなる。

↓

拡充も考慮した交付限度額	393.525	⑯ (国費)
--------------	---------	--------

○交付限度額、国費率の算出

交付対象事業費(A+B)	874.5	(事業費)	⇒	交付要綱第5に基づく交付限度額(⑯を1万円の位を切り捨て)	393.5	⑰ (国費)
				国費率	0.450	⑱ (国費率)

(参考)年次計画

(事業費:百万円)

事業		事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
細項目									
基幹事業									
道路									
公園									
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活 基盤施設	情報板	観光案内サイン設置	大分市	11.5	11.5				
	情報板	デジタルサイネージ型案内板設置	大分市	20.0	20.0				
高質空間 形成施設	緑化施設等	中央住吉1号線修景	大分市	249.5	115.0	56.7	77.8		
	緑化施設等	中央住吉2号線修景	大分市	328.3	123.0	51.3	154.0		
	緑化施設等	中央町南春日線シェルター設置	大分市	60.0	60.0				
高次都市施設									
既存建造物活用事業									
土地区画整理事業									
市街地再開発事業									
住宅街区整備事業									
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備促進事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地 総合整備 事業	拠点開発型								
	沿道等整備型								
	密集住宅市街地整備型								
	耐震改修促進型								
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									
計				669.3	329.5	108.0	231.8	0.0	0.0
提案事業									
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
地域創造 支援事業	まちなか出店サポート事業	大分市中心市街地地区	大分市	21.2	5.3	5.3	5.3	5.3	
	まちなかにぎわい創出事業	大分市中心市街地地区	大分市	6.0	6.0				
	環境にやさしい自転車のまちづくり啓発事業	大分市中心市街地地区	大分市	2.0	2.0				
	中心市街地循環バス運行事業	大分市中心市街地地区	大分市	150.0		36.0	90.0	24.0	
事業活用 調査	トータルデザイン策定調査	大分市中心市街地地区	大分市	1.0	1.0				
	通行量調査	大分市中心市街地地区	大分市	20.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
	事後評価調査	大分市中心市街地地区	大分市	5.0					5.0
まちづくり活動推進事業									
計				205.2	18.3	45.3	99.3	33.3	9.0
合計				874.5	347.8	153.3	331.1	33.3	9.0
累計進捗率 (%)					39.8%	57.3%	95.2%	99.0%	100.0%

高質空間形成施設

単位:百万円

交付対象施設	施設名	事業主体	概要 (箇所数、規模等)	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳			備考
					設計費	用地費	施設整備費	
緑化施設等	中央住吉1号線修景	大分市	L=330m、W=10m 半たわみ舗装、街路灯	249.5			249.5	
緑化施設等	中央住吉2号線修景	大分市	L=320m、W=8m 自然石舗装、街路灯	328.3			328.3	
緑化施設等	中央町南春日線 シェルター設置	大分市	L=40m、W=4m H=4.5m	60.0	10.0	10.0	40.0	
合計				637.8	10.0	10.0	617.8	

・「事業主体」欄には、事業の施行者を記入。(間接交付の場合は、交付金事業者ではなく、「第三セクター」等の施行者を記入。)

・「電線類地下埋設施設」は、備考欄に地中化の方式(自治体管路等)を記入。

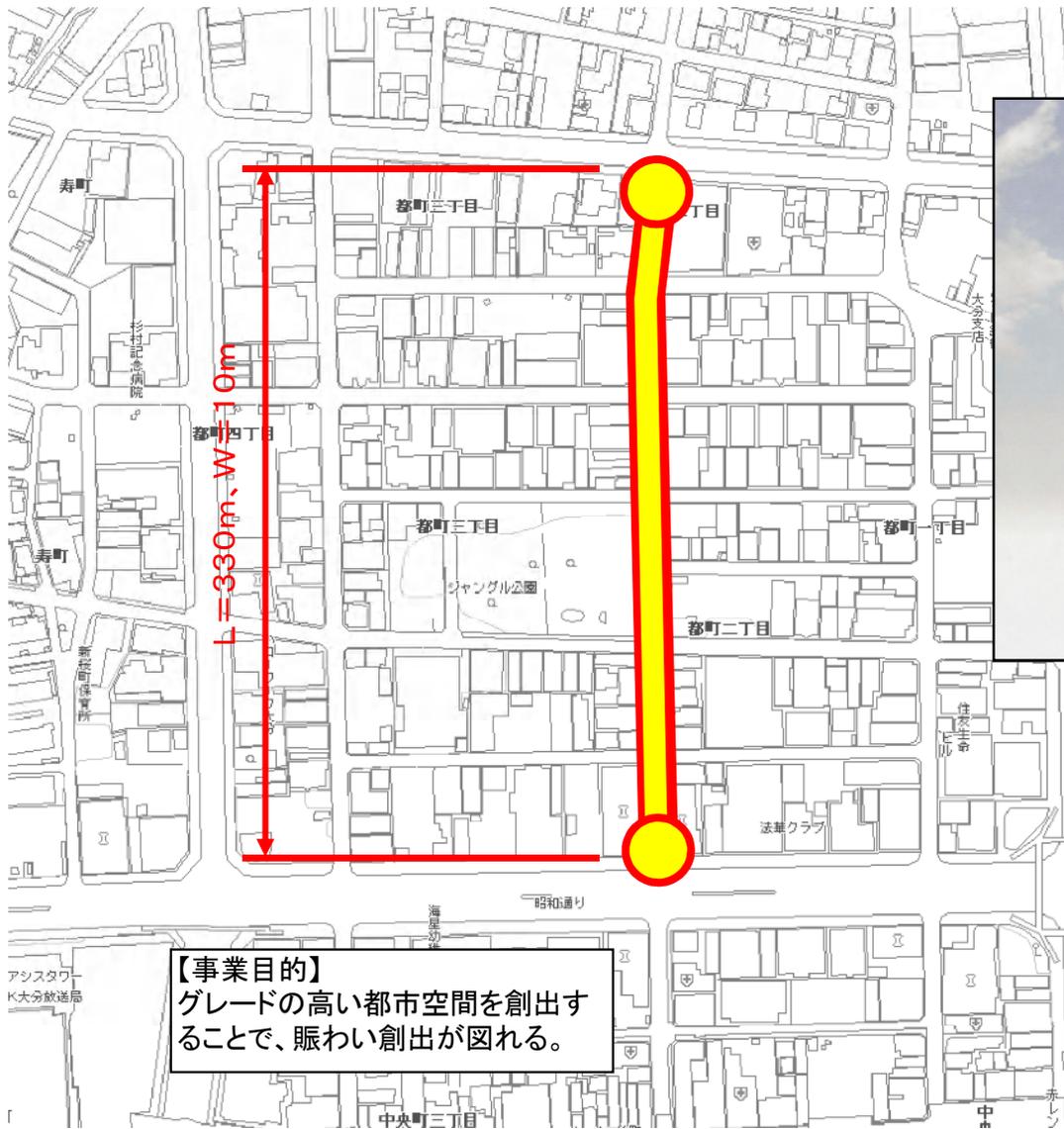
・「緑化施設等」及び「電線類地下埋設」について、道路区域内で整備する場合は、備考欄に道路の都市計画決定の有無、道路の改築を伴うか否かを記入。

・「緑化施設等」について、施設名欄、概要欄に整備内容を具体的に記入。

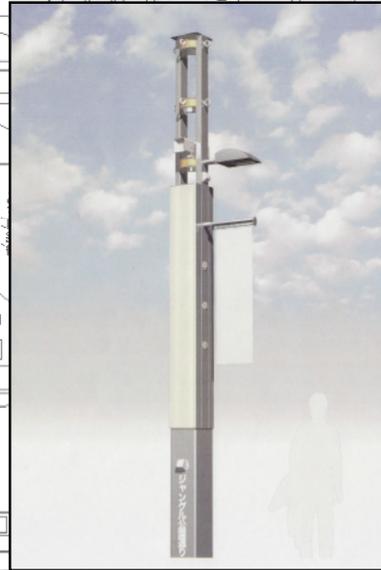
基幹事業

高質空間形成施設

中央住吉1号線修景

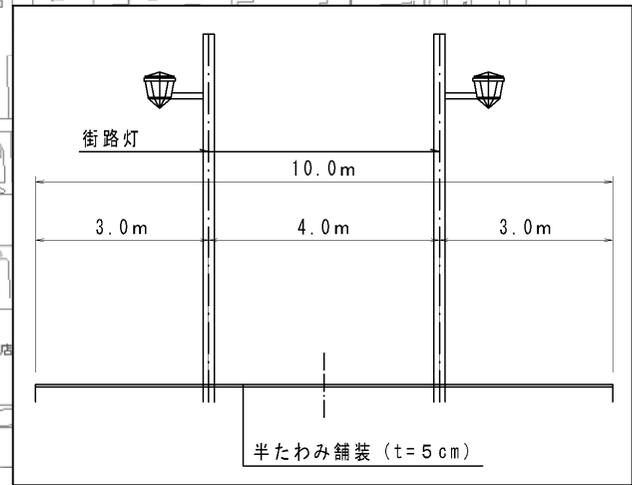


照明パース図



半たわみ舗装 (例)

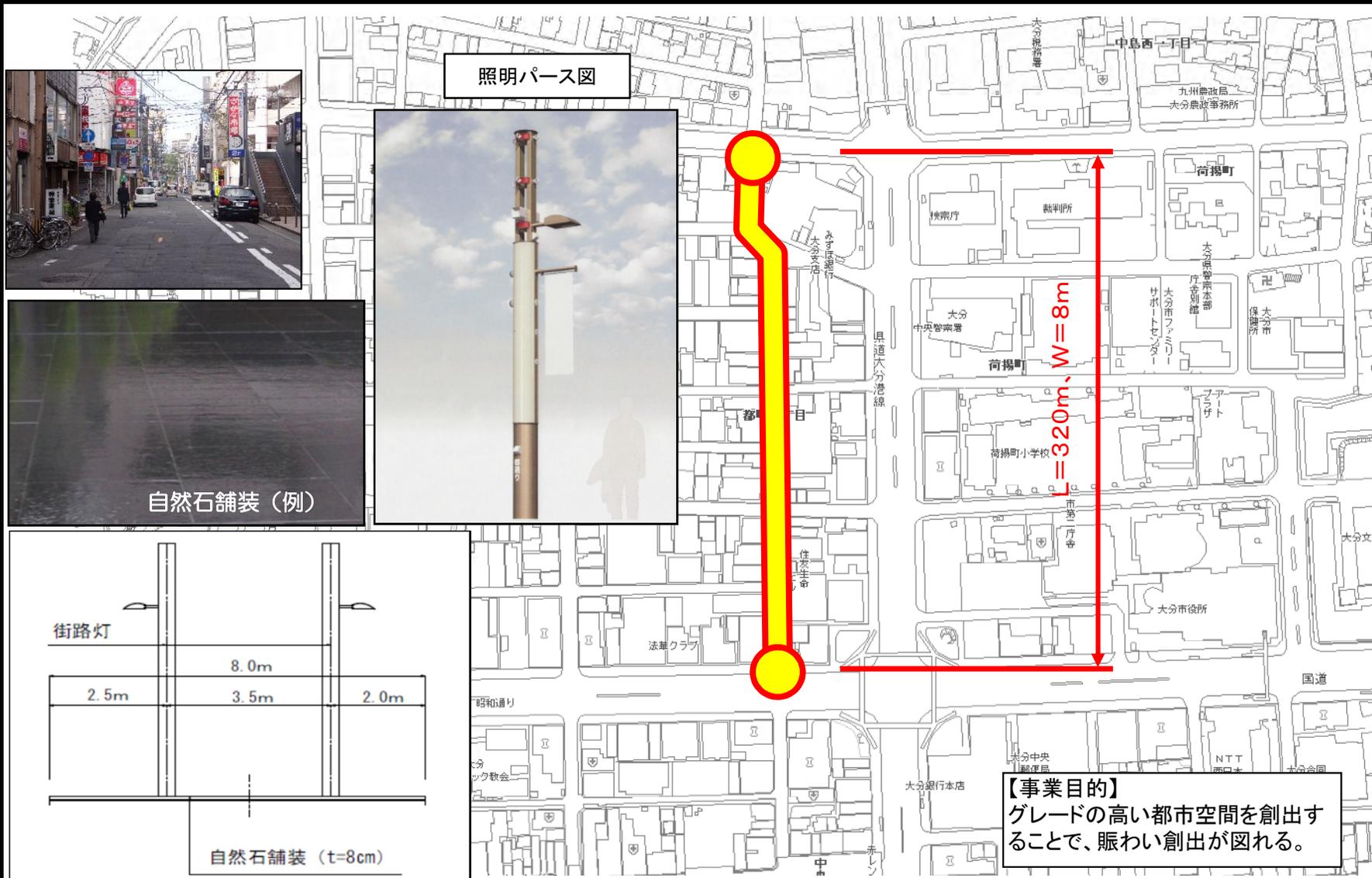
【事業目的】
グレードの高い都市空間を創出することで、賑わい創出が図れる。



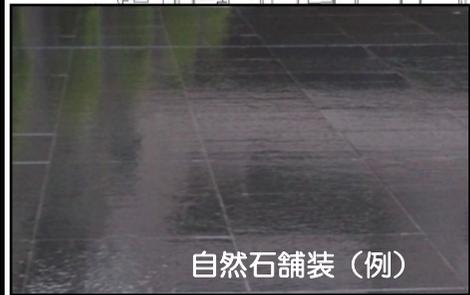
基幹事業

高質空間形成施設

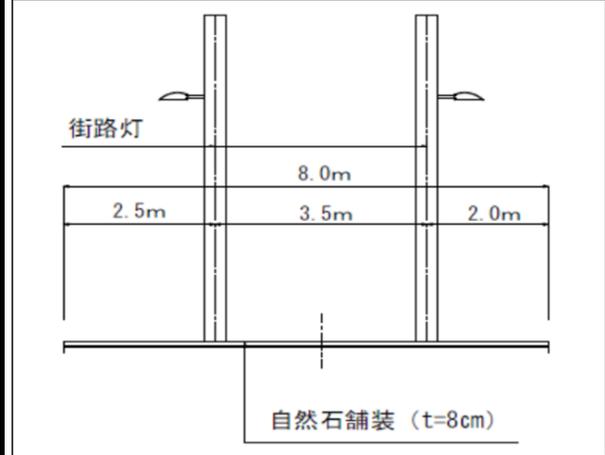
中央住吉2号線修景



照明パース図



自然石舗装 (例)



【事業目的】
グレードの高い都市空間を創出することで、賑わい創出が図れる。

事業活用調査・まちづくり活動推進事業・地域創造支援事業

(単位:百万円)

事業名	事業概要	事業主体	規模	交付期間内事業期間		交付期間内事業費				事業費の主な使途概要	その他	
				開始年度	完了年度	うち調査費	うち用地費	うち整備費	うち購入費			
□地域創造支援事業 ・まちなか出店サポート 事業	○テナントミックス 中心部の空き店舗等の情報収集を行い、起業者に対し、空き店舗等の情報提供や出店に関する相談、事業計画書作成支援等の出店サポートを行う。また、出店効果が最大限に発揮されるよう、出店場所や業種等についてアドバイスを行う。 この事業を行うことで、中心部の空き店舗の有効利用と効果的な店舗展開等を促進し、中心部の活性化とにぎわい創出を目指す。 ○イベントミックス 中心部で開催されているイベント情報を収集し、イベントの効果的な組合せや開催時期の調整等を行う。 この事業を行うことで、情報発信やイベント効果を効率よく発揮させ、中心部のにぎわい創出を目指す。 ○フォローアップ まちなか出店サポート事業について、大分市中心市街地活性化協議会などにて進捗状況等の報告・協議などを行ない、関係機関との調整を行なった上で、状況の変化に応じて事業などの改善等が必要であればその対応を行なう。 以上の3事業を効果的に展開することにより、歩行者通行量やまちなかでの滞留時間増加を目指す。	大分市	A=153ha	平成26年度	平成29年度	21.2	21.2				○テナントミックス 空き店舗・空き事務所の情報収集及び起業者に対する相談業務や事業計画書作成支援等の業務に要する費用 ○イベントミックス イベント情報の収集及びイベントの効果的な組合せや開催時期の調整、各種広報に要する費用 ○フォローアップ まちなか出店サポート事業について大分市中心市街地活性化協議会などにて進捗状況等の報告・協議を行なうに要する費用。 以上の3事業に要する費用	
□地域創造支援事業 ・まちなかにぎわい創出 事業	平成25年度に実施した「まちなかにぎわい実証実験」に参加した団体に加え公募によって新たな参加者を募り、週末を中心ににぎわい創出に向けたイベント事業を連続的に開催する。これにより中心市街地の更なる面的なにぎわいの創出と継続、定着化を図ることで、来街者の増加や回遊性の向上を推し進めていく。 ○イベントの企画 例:ファッションショー、アート&パフォーマンス、赤ちゃんフェスタ、ハロウィン等 ○憩い空間の整備 例:オープンカフェ、イス、テーブル、パラソル等の設置	大分市		平成26年度	平成26年度	6.0	6.0				○イベントの企画 イベントの企画及び実施に要する費用 ○憩い空間の整備 イス、テーブル、パラソル等の設置に要する費用	
□地域創造支援事業 ・環境にやさしい自転車 のまちづくり啓発事業	大分いこいの道を舞台に道路を活かした自転車競技大会及び関連イベントを実施し、市内はもとより市外からの多くの観戦者を呼び込むことにより、いこいの道を中心とした街中の賑わいを創出し、中心市街地活性化を図る。	大分市		平成26年度	平成26年度	2.0					○イベントの企画 イベントの企画及び実施に要する費用	
□地域創造支援事業 ・中心市街地循環バス 運行事業	高齢者や子育て家族など、徒歩での長距離の移動が困難な方の中心市街地における回遊性向上や、市美術館と新設される県立美術館など距離が離れた南北の施設の移動の利便性を向上させるため、中心市街地において循環バスを運行させる。	大分市		平成27年度	平成29年度	150.0	84.0			66.0	○バス車両購入 ○バス車両ラッピング ○バス停整備 ○運行委託費 ○利用状況調査	
□事業活用調査 ・トータルデザイン策定 調査	都心南北軸を周辺の民有空間も含めたトータルデザインとして整備するにあたり、行政を中心として、幅広い知識と経験を持ったデザイナー・バイザーの力を借りながら、市民の意見・意向を調査し、賑わいの創出と人にやさしい魅力ある都市空間としての整備に繋げる。	大分市		平成26年度	平成26年度	1.0	1.0				デザイナー・バイザーから専門的な意見を求め、市民の意見・意向の調査に要する費用	
□事業活用調査 ・通行量調査	中心市街地の通行量を毎年測定し、経年変化及びエリア毎の通行量などを分析することで、本事業における施策の効果検証を行い、より効果的な施策の展開に繋げる。	大分市		平成26年度	平成30年度	20.0	20.0				中心市街地における通行量調査及び結果分析、施策の検証に要する費用	
□事業活用調査 ・事後評価調査	大分市中心市街地地区都市再生整備計画に関する事後評価に必要な資料を収集・整理し、評価及び分析を行う。	大分市		平成30年度	平成30年度	5.0	5.0				都市再生整備計画の事後評価分析に要する調査費用	

中心市街地循環バス運行事業

【目的】

中心市街地における回遊性の向上を図るとともに、中心市街地を活性化させる装置として、関係者で活用策を検討しながら、まちなかのにぎわいを創出する。

- 高齢者や、子育て家族など、バリアフリーの観点から移動弱者の支援を行う。
- 市美術館と県立美術館等距離が離れた南北施設の移動の利便性を向上させる。
- 大分駅南地区に増加するマンション居住者(高齢者)や中心市街地に存在する交通不便地域の住民の移動手段を確保する。
- 中心市街地周縁部にある駐車場と連携し、循環バスでのアクセスを促進する。
- 各種イベントと循環バスを連携させ、バス利用のきっかけづくりを行う。
- 各種民間団体と連携し、車体や車内空間を情報発信媒体やアート等を身近に感じられる空間として活用する。

